

掛川総合スポーツクラブ（静岡県）

掛スポの新しい挑戦、健康クラブの推進!

100%自主財源のクラブ

静岡県掛川市の体育協会では「スポーツによるまちづくり」を合言葉に、総合型クラブ「掛川総合スポーツクラブ（略称：掛スポ）」を、自主事業として推進してきました。

平成17年4月より活動を開始しましたので今年で5年目ですが、お陰様で現在100%自主財源によるクラブ事業を順調に継続することができています。

この主な要因は、魅力あるプログラムが年間を通じて提供できていること、そして、月会費制での受益者負担が地域に定着してきたことがあげられます。

クラブ内クラブの「健康クラブ」

さて、日本国内では高齢社会が進行しており、地域の総合型クラブの使命としても健康づくりや介護予防などのプログラム開発が大切になっています。

掛スポでも、公共スポーツ施設を会場としたシニア対象のプログラムを実施していますが、もっと身近な会場で、日常生活に定着したプログラムの推進が必要だと考えています。

その対策としていま取り組んでいるのが、「クラブ内クラブ」の発想です。これは、掛スポクラブの中に別途目的を持った新たなクラブ「健康クラブ」をつくり、その目的実現のため企画推進をすることです。



NHK 巡回ラジオ体操

小学校区に既にある施設での協働展開

地域住民の健康づくりには、スポーツに親しめる身近な生活環境の整備が重要です。しかし、現在の活動拠点が市内に3、4か所の掛スポがいくら頑張っても、このような環境整備には限度があります。

高齢社会のさらなる健康づくりの推進条件は、地域に密着した拠点施設の活用が大事です。幸いにも掛川市には、小学校区にひとつ「地域生涯学習センター（全26センター）」があります。

そこで、この地域センターの連絡協議会や体育部との協働で、生涯を通じて気軽に健康づくりができる環境整備を実現する、その推進策が掛スポクラブ内の健康クラブ事業である訳です。

新しい「支部」事業モデルの構築

健康クラブの事業ポイントは、これまでの掛スポの事業モデルとは異なるものが要求されています。

より小さなエリアでの地域密着型であり、地域住民主導型の健康づくりシステムの整備が必要であり、同時に、地域センターにおける指導者の育成が重要課題となります。

当面の健康クラブの展開方法としてはいくつかのモデルセンターを設定し、ラジオ体操やウォーキング、トランポピクスなどの手軽で無理のないプログラムを、センター体育部との協働で推進していきます。

このような健康づくり運動により介護予防や医療費の削減効果が期待できるとともに、将来、掛川市内小学校区での「総合型クラブの支部創設」の布石にも繋がると考えられます。



トランポピクス

【掛川総合スポーツクラブ・プロフィール】

1. 設立

年月：平成 17 年 4 月

母体：NPO 法人掛川市体育協会

経緯：東遠州地域の広域施設「総合体育館」が開館。その施設の有効活用と地域のスポーツ参加率向上が目的でクラブを創設。

2. 地域

人口：12 万人

地域特性：東海道ベルト地帯で交通の要所。気候温暖で歴史伝統があり「報徳精神」が尊重される地域。お茶に代表される 1 次産業従事者と大手工業団地企業の転勤族が混在。

3. クラブ

会員数：2,050 人（H21.11 月現在）

特徴：「ゆりかごから墓場」まで、掛スポ活動で地域住民のライフスポーツサイクルを支援

年間予算：約 6,300 万円（自己財源率 100%）

4. 連絡先・事務局

〒436-0000 静岡県掛川市大池 2250 総合体育館さんりーな内

TEL 0537-61-1910 FAX 0537-61-1911

URL ; <http://kakespo.com/>

Email ; mail@kakespo.com